

校訓「自主・互譲・責任」のもと ～入学式 学校長式辞から～

暖かな春の光の中で、入学式を行うことができた。たくさんの保護者、ご来賓の方々に見守られながら、新入生38名が高校生活の第一歩を踏み出した。学校長式辞の中で、校訓「自主・互譲・責任」のもと、三つのことを実行してほしいという話をした。

【学校長式辞から抜粋】

これから3年間の充実した高校生活をスタートするために、本校の校訓である「自主・互譲・責任」のもと次の三つのことを実行してほしいと思います。

一つは、「自主的に行動することで自分の持つ可能性を伸ばしてほしい」ということです。自主的に、いろんなことに挑戦して自分の可能性を伸ばし、将来の夢や希望の実現につなげてください。そして、その中に、世の人々のため、自分が生まれ育った故郷や社会のためという要素を加えてほしいと思います。

二つ目は、「温かい心と強い心をもってほしい」ということです。本校の校訓である「互譲」とは、「互いに譲り合う」という意味で

ず。自分の意見や考えを主張したり押しついたりするのではなく、相手の意見や立場を理解し、お互いに尊重し、譲り合い助け合いながら共に成長していきましょう。

三つ目は、「規律ある行動をする」ということです。自分の気ままを押さえ、自分で自分を律すること、自分で考え、自分で正しく判断し、責任ある行動が取れること。その結果として、ほんとうの自由が手に入るのです。氷上西高生として、挨拶、掃除、時間を守る、この三つがきちんとできることと同時に、清潔感のある身なりができる、その場にふさわしい誠実な行動が取れるということは社会に出てからも求められます。

(校長 高橋 信之)

